

# 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	次世代自動車の普及促進			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管課	環境局脱炭素事業推進課	根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律 エネルギーの使用の合理化等に関する法律		〇本市において、温室効果ガス排出量の割合が特に多い家庭・業務・自動車の各部門を重点3部門と位置づけ、重点的に施策を実施している。
開始年度	平成19年度	行政計画	福岡市地球温暖化対策実行計画		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 市民及び市内事業者	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 〇市内のガソリン車の台数を削減し、次世代自動車を普及促進させるために、以下の事業を実施 ・市政だよりやHP等での広報 ・次世代自動車展示会 ・次世代自動車の購入費用の一部を助成 ・電気自動車用充電設備の設置費用の一部を助成	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 〇「福岡市地球温暖化対策実行計画」における成果指標(「乗用車新車販売台数に占めるガソリン車の割合」や「公共用急速充電設備設置数」)の達成状況等を踏まえ検討する。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 〇二酸化炭素を排出しない自動車への移行や、エネルギー消費の少ない運転など、自動車部門における脱炭素シフトを推進することにより、温室効果ガスの排出削減を図る。				

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウト (どんな活動を行うのか)	②結果アウト (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウト (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウト (その結果、市としてどうなるのか)
	〇次世代自動車展示・試乗会等による普及啓発 〇次世代自動車の購入費用の一部を助成 〇電気自動車用充電設備設置費用の一部を助成	〇次世代自動車に対する関心が高まる。 〇次世代自動車の普及が広まり、ガソリン車の保有割合が減少する。	〇自動車部門におけるエネルギー使用量及び二酸化炭素排出量が削減される。	〇自動車部門から排出される二酸化炭素排出量が減少する。 〇人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築される。
	活動の指標	成果の指標(KPI)		

  

指標の内容	年度	実績		目標		成果の指標(KPI)
		R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	
次世代自動車の購入補助件数	目標	100	203	265	R 年度	
	実績	96	214		-	
	達成率	96.0%	105.4%			
電気自動車用充電設備設置補助件数	目標	7	8	10	R 年度	
	実績	4	4		-	
	達成率	57.1%	50.0%			

  

指標の内容	年度	実績		目標	
		R2年度	R3年度	R4年度	最終年度
乗用車新車販売台数に占めるガソリン車の割合(%)	目標	-	-	-	R12年度
	実績	67	-		35
	達成率	-	-		
公共用急速充電設備設置数(基)	目標	-	-	67	R12年度
	実績	-	57		150
	達成率	-	-		

基本計画		事業区分	重点
施策コード	主 4-1-1 再 -	自動車部門の成果指標は該当なし	
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
施策	地球温暖化対策の推進と自律分散型エネルギー社会の構築		
事業群	省エネルギーの推進		
行政運営プラン			
取組方針	2ぬくもり 多様なニーズに寄り添うサービスの提供		
推進項目	④市民や企業などとの共働・連携		

事業費(千円)		
令和3年度決算額(見込額)		
歳出合計	27,773	
歳入	特定財源	27,682
	一般財源	91
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	R2                      R4	
歳出合計	17,626                      47,447	
歳入	特定財源	17,544                      42,615
	一般財源	82                                  4,832

## 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

<b>事業名</b>	事業系一般廃棄物資源化施設の整備支援			<b>背景</b>	事業を始めた理由(きっかけ)は何か	
<b>所管課</b>	環境局計画課	<b>根拠法令</b>	なし		事業者の自主的な取組みのみでは事業系ごみの資源化が円滑に進まない現状に鑑み、事業者の排出者責任を踏まえつつ、その資源化に向けた取組みを支援することにより、循環資源の更なる利用を促進し、もって循環型社会の形成に資するため、「福岡市事業系ごみ資源化推進ファンド」を設置し、同ファンドを活用した事業を実施。	
<b>開始年度</b>	平成26年度	行政計画	福岡市一般廃棄物処理基本計画			

### 【事業概要】

<b>対象</b>	誰(何)を対象として行うのか ①本市において施設の設置又は変更の許可を取得した者 ②本市において施設の許可に基づき施設等を設置し稼働している者	<b>実施内容(手段)</b>	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・令和4年2月の都市計画審議会において、食品廃棄物資源化施設についての採択がなされ、3月に施設設置事業者が建築基準法51条許可を取得した。 ・食品廃棄物の資源化施設設置に係る事業者との協議・調整を行い、事業スケジュールに沿った施設整備の推進を支援した。 ・食品廃棄物の収集運搬体制構築のため、課題や今後の方策について収集運搬許可業者と協議を行った。	<b>成果(終期・継続検討)</b>	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 補助金の終期が令和6年度末までであるため、令和7年度以降については、資源化施設の設置及び稼働状況、事業者の建設計画等を勘案し、継続を検討する。
<b>事業目的</b>	対象をどのような状態にしたいのか 事業系一般廃棄物の資源化推進に寄与する施設及び設備を本市内で整備するために要する費用について、その一部を補助することにより、本市の一般廃棄物の資源化施設の基盤整備を図る。				

### 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)</b>	<b>②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)</b>	<b>③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)</b>	<b>④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)</b>
	・資源化施設の設置に係る事業者との協議・調整、設置許可及び補助金交付	・資源化施設の設置、稼働 ・廃棄物の資源化事業の開始	・市内におけるリサイクル量の増加	・ごみ処理量の削減
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>		

  

指標の内容	年度	実績		目標		成果の指標(KPI)
		R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	
補助金交付件数	目標	1.0	0.0	0.0	R6年度	1.0
	実績	1.0	0.0		R6年度	
	達成率	100.0%	0.0%		R6年度	
	目標				R年度	R年度
	実績				R年度	
	達成率				R年度	

  

指標の内容	年度	実績		目標		
		R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	
リサイクル量(t)	目標	254,500	259,000	263,500	R6年度	
	実績	231,848	245,403		R6年度	272,500
	達成率	91.1%	94.8%		R6年度	
	目標				R年度	
	実績				R年度	
	達成率				R年度	

		事業区分	重点
<b>基本計画</b>			
施策コード	主	4-2-1	
	再	-	
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
施策	循環型社会システムの構築		
事業群	3Rの推進		
<b>行政運営プラン</b>			
取組方針	なし		
推進項目			

<b>事業費(千円)</b>			
<b>令和3年度決算額(見込額)</b>			
歳入	歳出合計	24	
	特定財源	24	
	一般財源	0	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
歳入	年度	R2	R4
	歳出合計	36,759	4,139
	特定財源	36,759	4,139
	一般財源	0	0

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	事業系食品廃棄物3R推進事業		事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管課	環境局ごみ減量推進課	根拠法令	食品ロス削減の推進に関する法律
開始年度	令和3年度	行政計画	なし
			背景 食品ロス削減の推進に関する法律の施行に伴い、本市においても食品ロス削減の推進を実施するためから。 当該事業は、令和3年度より事業系ごみ資源回収推進事業から分割し、事業系食品廃棄物3R推進事業として実施している。

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	成果(終期・継続検討)	どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか
	食品関連事業者(飲食店・宿泊施設・食品小売店等) 特定非営利活動法人フードバンク福岡 一般財団法人日本気象協会				
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか				
	約28%を占める食品廃棄物をごみとして処理するのではなく、減量・資源化を推進している状態にする。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																							
	・食品関連事業者への啓発 ・福岡エコ運動による広報啓発及び協力店の拡大 ・日本気象協会による商品需要予測サービスの広報 ・フードバンク活動の広報啓発及び食品提供企業数の増加	・飲食店等での食べ残しが減る ・家庭での食品ロスが減る ・天候によって左右される、食品需要が要諦され食品ロスが減る ・品質に問題のない食品がフードバンクに寄付され、食べ物に困った人たちが助かる ・食品廃棄物をリサイクルする事業者が増える	・食品廃棄物の排出量が減少する ・食品ロス発生が減少する	・ごみ処理費用の減少 ・食品ロス活用量の増加																																							
	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>570.0</td> <td>630.0</td> <td></td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>571.0</td> <td>634.0</td> <td>670.0</td> <td>700.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.2%</td> <td>100.6%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	目標	570.0	630.0		R6年度	実績	571.0	634.0	670.0	700.0	達成率	100.2%	100.6%					<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>90.0</td> <td>170.0</td> <td></td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>160.0</td> <td>237.0</td> <td>250.0</td> <td>300.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>177.8%</td> <td>139.4%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	目標	90.0	170.0		R6年度	実績	160.0	237.0	250.0	300.0	達成率	177.8%	139.4%	
年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																							
目標	570.0	630.0		R6年度																																							
実績	571.0	634.0	670.0	700.0																																							
達成率	100.2%	100.6%																																									
年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																							
目標	90.0	170.0		R6年度																																							
実績	160.0	237.0	250.0	300.0																																							
達成率	177.8%	139.4%																																									

事業区分		重点
基本計画		
施策コード	主 4-2-1 再 -	施策成果指標 <成果指標> ・ごみ処理量 目標値:49万トン(令和4年度) <補完指標> ・1事業所1日あたり事業系ごみ処理量 目標値:11kg/所・日(令和6年度)
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている	
施策	循環型社会システムの構築	
事業群	3Rの推進	
行政運営プラン		
取組方針	2ぬくもり 多様なニーズに寄り添うサービスの提供	
推進項目	④市民や企業などとの共働・連携	

事業費(千円)		
令和3年度決算額(見込額)		
歳出合計		9,076
歳入	特定財源	9,076
	一般財源	0
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	R2	R4
歳出合計	0	9,959
歳入	特定財源	9,959
	一般財源	0

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	3R推進事業(食品ロス)			事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管課	環境局ごみ減量推進課	根拠法令	食品ロスの削減の推進に関する法律	さらなるごみ減量の減量のためまずはごみを出さない生活スタイルを定着させることが重要であることから、3R(リデュース(発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再生利用))のうち2R(リデュース、リユース)に重点を置いた3Rの推進啓発を強化し、実践行動の促進を行うため。
開始年度	平成19年度	行政計画	新循環のまち・ふくおか基本計画	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	成果(終期・継続検討)
	市民  対象をどのような状態にしたいのか 食品ロス問題を正しく認識し、理解にとどまらず実践行動をしている状態 例)買い物前の食材チェック。冷蔵庫内の整理整頓。食材の使い切り、食べきり。使い切れなくなった食材をフードドライブする。			

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																												
	・食品ロス問題を啓発する ・食品ロス削減行動を啓発する。	・食品ロス削減の認知度が上がる ・食品ロスを減らすための行動をとる	・食品ロスを身近な問題ととらえ削減行動をとる ・食品ロス削減行動が持続的・継続的に行われる ・食品ロス削減をはじめとした家庭ごみの減量の意識が根付く	・手つかず食品処理量が減少する ・ごみ処理量が減少する																																																																												
活動の指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市民アンケート「食品ロス問題を認知して削減に取り組む」回答数(単位:%)</td> <td>目標</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td rowspan="3">80.0</td> <td>R12年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>84.2</td> <td>84.9</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>105.3%</td> <td>106.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	市民アンケート「食品ロス問題を認知して削減に取り組む」回答数(単位:%)	目標	80.0	80.0	80.0	R12年度	実績	84.2	84.9	80.0	達成率	105.3%	106.1%			目標				R 年度	実績				-	達成率					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">食品廃棄物の焼却量(万トン)</td> <td>目標</td> <td>14.2</td> <td>14.1</td> <td rowspan="3">14.1</td> <td>R12年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>13.9</td> <td>13.8</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>102.2%</td> <td>102.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">手つかず食品処理量(万トン)</td> <td>目標</td> <td>2.3</td> <td>2.2</td> <td rowspan="3">2.2</td> <td>R12年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2.1</td> <td>2.0</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>107.1%</td> <td>110.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	食品廃棄物の焼却量(万トン)	目標	14.2	14.1	14.1	R12年度	実績	13.9	13.8	13.2	達成率	102.2%	102.2%		手つかず食品処理量(万トン)	目標	2.3	2.2	2.2	R12年度	実績	2.1	2.0	1.8	達成率	107.1%	110.0%	
指標の内容	年度			実績		目標																																																																										
		R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																																																											
市民アンケート「食品ロス問題を認知して削減に取り組む」回答数(単位:%)	目標	80.0	80.0	80.0	R12年度																																																																											
	実績	84.2	84.9		80.0																																																																											
	達成率	105.3%	106.1%																																																																													
	目標				R 年度																																																																											
	実績				-																																																																											
	達成率																																																																															
指標の内容	年度	実績		目標																																																																												
		R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																																																											
食品廃棄物の焼却量(万トン)	目標	14.2	14.1	14.1	R12年度																																																																											
	実績	13.9	13.8		13.2																																																																											
	達成率	102.2%	102.2%																																																																													
手つかず食品処理量(万トン)	目標	2.3	2.2	2.2	R12年度																																																																											
	実績	2.1	2.0		1.8																																																																											
	達成率	107.1%	110.0%																																																																													

事業区分		重点
基本計画		
施策コード	主 4-2-1 再 -	施策成果指標 <成果指標> ・ごみ処理量 目標値:49万トン(令和4年度) <補完指標> ・市民1人1日あたり家庭ごみ処理量 目標値:491g/人・日(令和6年度)
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている	
施策	循環型社会システムの構築	
事業群	3Rの推進	
行政運営プラン		
取組方針	2ぬくもり 多様なニーズに寄り添うサービスの提供	
推進項目	④市民や企業などとの共働・連携	

事業費(千円)		
令和3年度決算額(見込額)		
歳出合計	3,835	
歳入	特定財源	3,835
	一般財源	0
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	R2 R4	
歳出合計	5,680 4,744	
歳入	特定財源	5,680 4,744
	一般財源	0 0

事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	3R推進事業(プラスチック)			背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か さらなるごみ減量の減量のためまずはごみを出さない生活スタイルを定着させることが重要であることから、3R(リデュース(発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再生利用))のうち2R(リデュース、リユース)に重点を置いた3Rの推進啓発を強化し、実践行動の促進する必要がある。
所管課	環境局ごみ減量推進課	根拠法令	なし	
開始年度	平成19年度	行政計画	福岡市一般廃棄物処理基本計画	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか ・市民 ・プラスチック使用製品を使用する事業者	実施内容(手段) 令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・イベントにおけるワンウェイプラスチック削減のため、環境配慮型容器を使用するモデル事業を実施し、参加者へアンケート調査を行った。また、モデル事業を踏まえイベント関係者にヒアリングを行い、事業者向けマニュアルを作成した。 ・プラスチックごみ削減連絡会の参加事業者に対し、令和4年4月のプラスチック新法施行に合わせた共同啓発や、メーカーのプラスチック製品自主回収に関する意見聴取を行った。	成果(終期・継続検討) どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか ・市民のライフスタイルが、不要なワンウェイプラスチックを選択しない行動に変容する。 ・事業者のプラスチック使用製品の使用の合理化が推進される。
	事業目的 対象をどのような状態にしたいのか ・イベント等で環境配慮型容器を選択する ・プラスチックごみ削減の意識が高まる		

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・イベントにおけるプラごみ削減のため、事業者にマニュアルを周知していく	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・事業者がイベントにおいて環境配慮型容器を利用する ・イベントに参加した市民のワンウェイプラ削減に関する意識が高まる	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・イベント等で環境配慮型容器を選択する ・プラスチックごみ削減の意識が高まる	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・市民、事業者のプラスチックごみ削減に関する意識が高まる ・市が処理するプラスチックごみが減少する
	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)
	レジ袋の辞退(%) (市民アンケート)	年度 R2年度 90.0% R3年度 89.0% R4年度 88.0% 最終年度 85.0% 実績 91.9% 89.4% 達成率 102.1% 100.4%	70.0%	リサイクル率の向上(%) (地域集団回収や資源化施設搬入量集計)
	マイボトル持参率(%) (市政アンケート)	年度 R2年度 54.1 R3年度 55.6 R4年度 70.0% 最終年度 80% 実績 52.6 53.6 達成率 97.2% 96.4%	80% (※プラン中間目標は60%)	再生品の購入(%) (小売業者等に対するヒアリング)

事業区分		重点
基 本 計 画		
施策コード	主 4-2-1 再 -	施策成果指標 <成果指標> ・ごみ処理量 目標値: 49 万トン(令和4年度) <補完指標> ・市民1人1日あたり家庭ごみ処理量 目標値: 491g/人・日(令和6年度)
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている	
施策	循環型社会システムの構築	
事業群	3Rの推進	
行政運営プラン		
取組方針	なし	
推進項目		

事業費(千円)		
令和3年度決算額(見込額)		
歳出合計	4,857	
歳入	特定財源	4,857
	一般財源	0
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	R2	R4
歳出合計	5,680	2,695
歳入	特定財源	5,680
	一般財源	0



事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	事業系ごみ資源回収推進事業			背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 事業系ごみの資源化にあたっては、自己処理責任のもと、事業者の自主性に委ねるだけでは資源化が進まない現状がある。そのため、事業系古紙をはじめとして、事業者の資源化に向けた取組みを支援する必要がある。なお、平成23年度からは「事業系ごみ資源化推進ファンド」を活用し支援を行っている。
所管課	環境局ごみ減量推進課	根拠法令	なし	
開始年度	平成15年度	行政計画	福岡市一般廃棄物処理基本計画	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡市内の事業者	実施内容(手段) 令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 事業系ごみ資源化推進ファンドを活用し、事業系ごみの資源化に関するホームページを運用するなど、中小事業者と古紙・機密書類のリサイクル業者を結び付けるマッチングサービスの提供と資源化に関する情報発信を実施。	成果(終期・継続検討) どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 新規事業者等に対し、事業系ごみの資源化についての情報発信は必要なことから、今後も事業は必要である。
	事業目的 対象をどのような状態にしたいのか 事業者が排出する古紙のうち、資源化可能な紙類について、適切に分別され、確実にリサイクルされる状態。		

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・市内事業者への事業系ごみ資源化発信サイトの広報及びサイトによる情報発信の改修	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・古紙業者と事業者のマッチング支援を行うことで適正排出を促し、事業系可燃ごみに含まれる再資源化可能な古紙が減る。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・古紙の排出量が減少する。 ・古紙のリサイクル量が増える。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・ごみ処理量の減少 ・リサイクル量の増加																																																												
	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)																																																												
活動の指標	古紙マッチングサービス利用申し込み件数	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>最終年度</th></tr> <tr><td>目標</td><td>70</td><td>70</td><td></td><td>R7年度</td></tr> <tr><td>実績</td><td>311</td><td>165</td><td>70</td><td>70</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>444.3%</td><td>235.7%</td><td></td><td></td></tr> </table>	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	目標	70	70		R7年度	実績	311	165	70	70	達成率	444.3%	235.7%			<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>最終年度</th></tr> <tr><td>目標</td><td>2.7万トン</td><td>2.7万トン</td><td></td><td>R7年度</td></tr> <tr><td>実績</td><td>3.9万トン</td><td>2.7万トン</td><td>2.7万トン</td><td>2.7万トン</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>69.2%</td><td>100.0%</td><td></td><td></td></tr> </table>	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	目標	2.7万トン	2.7万トン		R7年度	実績	3.9万トン	2.7万トン	2.7万トン	2.7万トン	達成率	69.2%	100.0%			<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>最終年度</th></tr> <tr><td>目標</td><td></td><td></td><td></td><td>R年度</td></tr> <tr><td>実績</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>達成率</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	目標				R年度	実績					達成率				
年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																																												
目標	70	70		R7年度																																																												
実績	311	165	70	70																																																												
達成率	444.3%	235.7%																																																														
年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																																												
目標	2.7万トン	2.7万トン		R7年度																																																												
実績	3.9万トン	2.7万トン	2.7万トン	2.7万トン																																																												
達成率	69.2%	100.0%																																																														
年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終年度																																																												
目標				R年度																																																												
実績																																																																
達成率																																																																

事業区分		重点
基本計画		
施策コード	主 4-2-1 再 -	施策成果指標 ・ごみ処理量 目標値: 49万トン(令和4年度) ・リサイクル率 目標値: 36%(令和6年度)
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている	
施策	循環型社会システムの構築	
事業群	3Rの推進	
行政運営プラン		
取組方針	なし	
推進項目		

事業費(千円)		
令和3年度決算額(見込額)		
歳出合計	298	
歳入	特定財源	298
	一般財源	0
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	R2	R4
歳出合計	0	530
歳入	特定財源	530
	一般財源	0

# 事務事業マネジメントシート（令和3年度実施分）

事業名	ふくおかの環境技術を活かした国際貢献・展開			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管課	環境局環境政策課	根拠法令	なし		平成9年に本市で開催されたアジア太平洋都市サミットを契機に、準好気性埋立構造「福岡方式」への関心が高まり、アジア諸国を中心に技術者の派遣、現地での技術指導などの国際協力を行ってきた。
開始年度	平成9年度	行政計画	福岡市環境基本計画		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか アジア太平洋地域の都市等	実施内容(手段)	令和3年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○ミャンマー・ヤンゴン市の埋立場の整備及び技術協力(国連ハビタットと共同実施) ・令和3年度も引き続き、新型コロナウイルスの影響により、ヤンゴン市への職員派遣は出来なかったが、オンライン会議にて必要な支援を実施(令和3年度 計11回)。 ○廃棄物埋立技術「福岡方式」を学ぶ研修員の受け入れ【令和3年度】 ・研修員、視察者ともに0名 ※新型コロナウイルス感染症の影響により受入なし。 ○第13回アジア太平洋サミット特別版で、福岡方式に関するセミナーを開催 ○国内、海外の技術者や福岡方式に関心のある都市が適正な福岡方式について学ぶことのできるプラットフォームのあり方について検討。	成果(終期・継続検討) どのような状態になったら事業を終了するのか、又は継続するのか 国内・海外の技術者や福岡方式の導入に関心のある都市の関係者等が、福岡方式の基本理念や施工、維持管理について十分理解し、福岡方式を活用した埋立改善事業が展開されている。福岡方式を含むふくおかの環境技術を活かして、対象都市等において持続可能な都市が形成されている。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか ・「福岡方式」をはじめ本市が有する環境技術の普及・活用が進み、対象都市等の環境が改善される。 ・福岡方式に携わる国内、海外の技術者や福岡方式に関心を持つ都市が福岡方式の基本理念や施工、維持管理に関する適正な知識を習得し、福岡方式により持続可能な都市の形成に貢献している。			

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウト (どんな活動を行うのか) ・「福岡方式」など、福岡市が有する環境技術を積極的にPRするとともに、これに対する都市のニーズを把握し、必要に応じ技術協力を実施する。	②結果アウト (活動の結果、どうなるのか) ・技術協力を実施した都市等において、埋立場における廃棄物管理技術が向上し、その都市等の環境が改善される。	③中間アウト (その結果、対象はどうなるのか) ・技術協力を受けた都市等において、福岡市が有する環境技術を自らの手で活用できるようになり、さらに、それぞれの都市等を拠点に、その環境技術が他都市等にも広がる。	④最終アウト (その結果、市としてどうなるのか) ・本市が有する環境技術により、アジア太平洋地域等における環境改善が進むとともに、本市の環境技術による貢献が世界で認知され、都市のプレゼンスが向上する。
	→	→	→	→
	成果の指標(KPI)			

指標の内容	年度	実績		目標		成果の指標(KPI)
		R2年度	R3年度	R4年度	最終年度	
技術協力(職員海外派遣)実施件数(累計) [※オンライン実施分含まず]	目標	80	82	91.0	R 年度	
	実績	75	75		—	
	達成率	93.8%	91.5%			
技術協力(職員海外派遣)実施件数(累計) [※オンライン実施分(R2~)]	目標	上記目標に含む	上記目標に含む	上記目標に含む	R 年度	
	実績	21	32		—	
	達成率	-	-			

基本計画		事業区分	重点
施策コード	主 8-6-1	施策成果指標	視察・研修生受入人数 目標値:1,700人(令和4年度)
	再 8-3-1		
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
施策	アジアの諸都市などへの国際貢献・国際協力の推進		
事業群	ビジネス展開に向けた国際貢献・国際協力の推進		
行政運営プラン			
取組方針	なし		
推進項目			

事業費(千円)			
令和3年度決算額(見込額)			
	歳出合計	14,240	
歳入	特定財源	13,757	
	一般財源	483	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R2	R4
	歳出合計	2,248	10,910
歳入	特定財源	2,099	0
	一般財源	149	10,910